



※※2013年1月改訂（第7版、使用上の注意等の改訂）

※2008年6月改訂

■貯法■：室温保存

■使用期限■：製造後3年（外装に表示の使用期限内に使用すること）

日本標準商品分類番号	872354
※承認番号	22000AMX01262000
※薬価収載	2008年6月
販売開始	2000年3月
再評価結果	1981年8月

緩下剤

※センナリド[®]錠12mg

SENNARIDE[®]

（センノシド錠）

■禁忌（次の患者には投与しないこと）■

- (1)本剤の成分又はセンノシド製剤に過敏症の既往歴のある患者
- (2)急性腹症が疑われる患者、痙攣性便秘の患者〔蠕動運動亢進作用により腹痛等の症状を増悪するおそれがある。〕
- (3)重症の硬結便のある患者〔下剤の経口投与では十分な効果が得られず、腹痛等の症状を増悪するおそれがある。〕
- (4)電解質失調（特に低カリウム血症）のある患者には大量投与を避けること〔下痢が起ると電解質を喪失し、状態を悪化するおそれがある。〕

■原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）■
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人（「5.妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照）

■組成・性状■

1.組成

※センナリド錠12mgは1錠中に下記の成分・分量を含有する製剤である。

センノシドA・Bカルシウム……………12mg

添加物として、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、セルロース、ケイ酸Al、ポビドン、カルメロースCa、ステアリン酸Mg、硬化油、白糖、炭酸Ca、タルク、ヒプロメロース、エチルセルロース、グリセリン脂肪酸エステル、無水ケイ酸、アラビアゴム、ゼラチン、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、酸化チタン、黄色5号、赤色102号、青色2号、カルナウバロウを含有する。

2.製品の性状

外 観	表	裏	側 面
淡赤色の糖衣錠			
識別コード（PTPに表示）	直径(mm)	厚さ(mm)	重量(mg)
SEN	6.5	3.9	120

■効能・効果■

便秘症

■用法・用量■

センノシドA・B（又はそのカルシウム塩）として、通常成人1日1回12～24mgを就寝前に経口投与する。高度の便秘には、1回48mgまで増量することができる。なお、年齢、症状により適宜増減する。

■使用上の注意■

1.慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

腹部手術後の患者〔腸管蠕動運動亢進作用により腹痛等がみられるので、消化管の手術後は特に注意すること。〕

2.重要な基本的注意

連用による耐性の増大等のため効果が減弱し、薬剤に頼りがちになることがあるので長期連用を避けること。

※※3.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹等
代謝・栄養	低カリウム血症、低ナトリウム血症、脱水
心血管系	血圧低下
消化器	腹痛、下痢、悪心・嘔吐、腹鳴、腹部不快感
肝臓	ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、γ-GTP上昇、血中ビリルビン上昇
腎臓・泌尿器	腎障害、着色尿 ^{注2)}
全身症状	疲労

注1) 投与を中止し、適切な処置を行うこと。

注2) 黄褐色又は赤色を呈することがある。

4.高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので慎重に投与すること。

5.妊婦、産婦、授乳婦等への投与

(1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕なお、投与した場合、子宮収縮を誘発して、流産の危険性があるので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には大量に服用しないよう指導すること。

(2)授乳中の婦人には、授乳を避けさせることが望ましい。〔授乳中の婦人にセンノシド製剤を投与した場合、乳児に下痢がみられたとの報告がある。〕

6.小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児に対する安全性は確立していない（使用経験がない）。

7.適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。）

■有効成分に関する理化学的知見■

一般名：センノシドA・Bカルシウム

（Sennoside A・B Calcium）

化学名：Dihydro-dirheinanthrone glucoside calcium salt

分子式：C₄₂H₃₆O₂₀Ca

分子量：900.81

